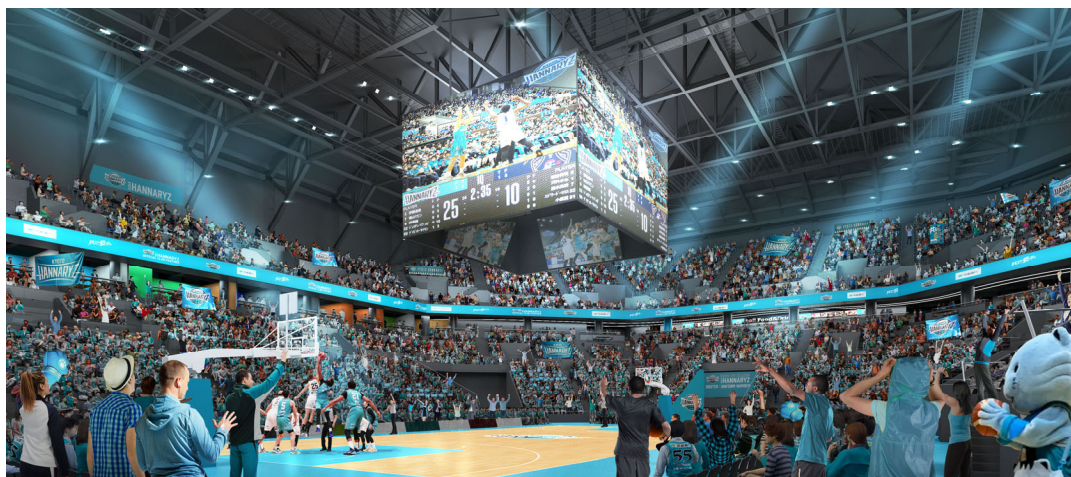


来る人も、使う人も。また来たくなる、また使いたくなるアリーナ

観客に多彩な興奮と感動を生むハイパフォーマンスアリーナ



●明快なゾーニング計画

- 各種プロリーグや大会の開催時に、選手、運営者、観客、VIP、メディアなど各動線が交錯しない施設配置とすることで、**利用者毎にコンパクトで明快なゾーニング**とします。
- 明快なセキュリティエリアを設定可能な諸室配置とすることで、メインアリーナとサブアリーナで別々のスポーツ大会やイベントを行うことが可能です。



●大会運営のしやすい施設計画

- ホーム・アウェイ両チームが、独立してアップすることができるよう、サブアリーナ隣接の練習コートを計画します。
- 練習コートとサブアリーナは**移動間仕切りを開放することで、一体的な利用**が可能で様々なイベントに活用できます。



テクノロジーにより、アリーナの体験価値を拡張させる

●スポーツエンターテインメント施設を実現する音響・映像設備

- 国内最高水準の密度となるアクセスポイントを常設し、最先端の通信環境を整え、**来場者が安心して快適に利用できる通信環境を提供**します。
- メインアリーナには**国内最大規模のセンタービジョン**を計画します。
- センタービジョン内には、**インナービジョンを4面搭載**し、フロア席の観客や、プレー中の選手たちにも、必要な情報を見やすく提供します。
- センタービジョンはコンサート時には屋根トラス内に収納可能となり、**速やかな場面転換も可能**となります。
- 各種映像を組み合わせ、**興行に合わせて柔軟に映像を表示することができる映像制御装置**を搭載予定です。映像の表示に対し、音響の調整、サイネージの表示切替、照明のパターン切替などを連動して制御可能とし、迫力あるデジタル演出で観客の体験価値を高めます。

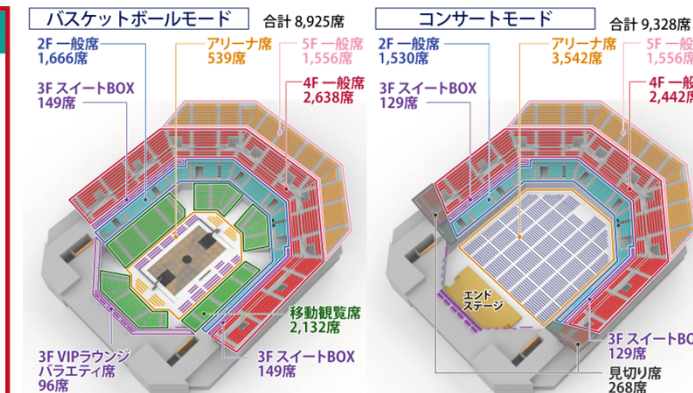


(注)各イメージパースは今後の設計等により内容に変更が生じる可能性があります。

多様な利用シーンに対応し高稼働を実現するボウルデザイン

●来るたびに新たなExperienceと一体感を生むボウルデザイン

- 各興行時の客席数を最大化したうえで、VIPエリアやバラエティ席などのプレミアムなエリア設定も可能とするボウル形状（ハイブリッドオーバル型）とすることで、**稼働率が高く、収益性のある「稼げる」アリーナ**を提案します。
- バスケ興行時は移動観覧席や仮設席により、**口の字型にコート**を囲むことで、**臨場感のある空間を演出**します。また、価値の高い長辺の座席を可能な限り最大化することで、センターコートの試合に最適な形状とします。（8,925席）
- 音楽興行時はU字型を基調としたボウル形状とし、**エンドステージを使用する際に見切りとなる座席を極少化**した無駄のない客席計画とします。（9,328席）



来るたびに違う楽しさに出会えるアリーナ

●収益性を高め、来訪者におもてなしを提供するVIPエリア

- VIPエリアには飲食を楽しみながら大人数で観戦可能なVIPラウンジと共に、個室空間となる**様々な特色のあるVIP・VIPルーム**をスポーツ観戦のしやすいコート長辺の両サイドに設けます。
- VIPルームは京都府の地域活性化策『もうひとつの京都』をテーマとし『海の京都』『森の京都』『京都市域』『竹の里・乙訓』『お茶の京都』の5つのルームバリエーションとします。
- コートサイドラウンジは「竹小径」をモチーフとした竹材で京都らしさを感じさせる上質な大人の社交場としてデザインします。

●混雑を緩和する機能的に配置された飲食・売店エリア

- 飲食・売店を分散配置し、あらゆる座席からのアクセス性に配慮した来場者が利用しやすい計画とします。
- 一部の飲食・売店はアリーナ内に計画することで、観戦しながらの飲食購入ができ、**決定的瞬間を見逃さない観戦体験**が可能です。

